

題材名『フィンガーアート』

(2時間)

【題材について】 ※ PR文「指でこすって 思いをふくらませよう」

- 画用紙をくりぬいた版の周りにパスで色をつけて指でこすることを通して、色の濃淡やこすった跡の残り方を楽しむことができる。
- 版の形を工夫することで、ストーリー性のある作品をつくることができる。

【本時のめあて】

- ◎ 自分の考えたイメージで版をつくり、パスを使って色のぬり方を工夫しよう。(図画工作)
- ◎ 楽しみながら、ていねいにつくろう。(人間形成)

本時の展開

学 習 活 動	教 師 の 支 援 (☆個別支援アイテム)
1 版のつくり方やこすり方を知る。	○ 教材提示装置を使って指導者の手元を映し、版のつくり方やパスのぬり方、こすり方を実演することで、創作意欲を持たせる。
2 めあてを知り、自分のイメージを大切にしながらつくる。 ・ 版の形の工夫・ストーリー性 ・ イメージを膨らませながら一生懸命	○ 版を切り抜き、その外周にパスをぬって内側にこする場合や、内周にパスをぬって外側にこする場合などを取り混ぜながら、イメージにあった活動を引き出す。 ・ 色を混ぜる方法 ・ ストーリー性のある版づくり ☆ イメージがわからない児童には、指導者の近くで実際にやって見せながら、楽しさに気づかせる。
3 出来上がった作品を掲示し、作品のおもしろさやストーリーにいて鑑賞し合う。	○ 友だちの作品から、肯定的な発見をさせることを通して、次の学習意欲につなげる。

【成果と課題】・・・ヒット題材にするためには？

- ・ 本題材は、手軽に表現ができ、偶然性も伴って、児童の満足感が高い題材である。細かい作業や集中力に欠ける児童にとっては、版(画用紙)が破れ易かったため、厚紙のほうが良かったかもしれない(カッターで切り抜くのは難しくなるが)。

写真・資料

